

税金は何のためにあるのか

筑陽学園中学校 3年 和智 マリン

税金には様々な用途がある。その中でも税金の一般合計歳出総額で最も割合が高い社会保障と私たち中学生にとって身近な税金の使い道である文教及び科学振興に着目したい。社会保障とは、私たちが安心して生活していくうえで必要な公的サービスのことである。具体的には、病院で手当てをしてもらうとお金がかかる。かかった金額の一部に税金が使われる。文教及び科学振興では、教育や科学技術の発展のために使われている。具体的には、公立小・中学校の教員の給与や教科書の配布などに使われる。

国語の授業で平和とは何かを考えた。その時に出した私の答えは、平和とは安心して今日を過ごせて安心して明日を迎えられることである。安心して今日を過ごすためにはできるだけ心配事がない方がよい。その点において、税金が使われている社会保障は私たちが怪我をした時の不安を軽減してくれる。安心して明日を迎えるためには戦争があってはならない。なぜなら戦争は保障された明日がないからだ。戦争を明日、そしてずっと遠くの未来で起こさないためには明日、そして未来を担う子どもの教育は欠かせない。戦争の残虐さや戦争でもたらされる悲劇を知り想像する力は税金が使われている教育によって養われるからである。

税金は何のためにあるのか。その一つの答えは平和のためだと私は考える。平成三十一年十月一日に消費税の税率は八パーセントから十パーセントへと引き上げられた。その理由として主に社会保障の安定的な財政確保のためなのだそう。ただ、私は、これは社会保障制度を維持することだけを意味するものではないと思う。社会保障を受ける納税者の私たちが安心して日々を送れるようにするための増税でもあるのではないだろうか。今までの私のように日本の平和の実現のために力になりたいと思っているが何をしたら良いか、何ができるかわからない人がたくさんいると思う。納税は平和を実現する第一歩である。つまり、税を納めることが平和への力になっているのだ。

正直、消費税が引き上げられるとニュースで知ったとき、税金を今より多く払うのは嫌だなと思った。私が税金を納めるという行動だけに目が向いていて、税金への理解が十分ではなかったからだ。このように、納税という行動で止まっている人にとっての税金への理解のきっかけに私の作文がなれたら嬉しい。